

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	()
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	安積地区 (柴宮、荒井、笹川、新宅、大谷地、南吉田、北吉田、牛庭、成田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	368 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	368 ha
② 田の面積	339 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	33 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	33 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	118 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

安積地区は、農業者の平均年齢69.79歳と高齢化が進み営農意欲が低下するなどにより、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え、機械利用組合や、法人、組合組織、集落営農組織を立ち上げる等の地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。
このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:255人(うち50歳代以下17人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 5経営体

主な作物:水稲、露地野菜、施設野菜 等

- ・直売所向けの野菜を生産している割合が高い。
- ・郡山南インターが近く交通の利便性が良い。
- ・若い担い手が面積拡大したいと思える好条件の環境を整備する必要性を感じる。
- ・新規就農者が地区に入りやすい環境づくりが必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人や組合組織、集落営農組織等を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにおいて、直売所も近くにあることから少量多品目を取組むことや、ブランド化を図ること、6次化製品の開発すること、PR方法による付加価値をつけること等について関係機関と連携して取り組むこと等により、当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

なお、高齢化の加速が進み、農業者一人当たりの作業負担も増加傾向になることが予測されるので、スマート農業を地域で取組み作業効率化・労働力の軽減を図り、地区内農業者の所得向上を目指す。さらなる作業効率化を図るため、当地区において基盤整備を行うことを強く要望していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率
			70 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
令和11年度 団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。 また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。
(3) 基盤整備事業への取組
基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、担い手一人当たりの負担増加も予想されることから、将来に向けてスマート農業が取り組みやすいよう、ほ場整備等の取組みを検討していく。また、多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行ってける環境を積極的に整えていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
農地を次の世代に引き継げるよう、話し合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、新規就農者が貸借しやすい農地(団地化)や農業用機械の活用、オペレータ育成を含め、地域全体で育成支援する。集落内農業者だけでは農地の保全是難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。 また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ③スマート農業技術の導入等により、農作業の省力化や農産物の高品質化を図り、地域農業の維持に努める。
- ⑦⑧既存の多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理などの作業を行い効率的に農作業ができる環境づくりを実施していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

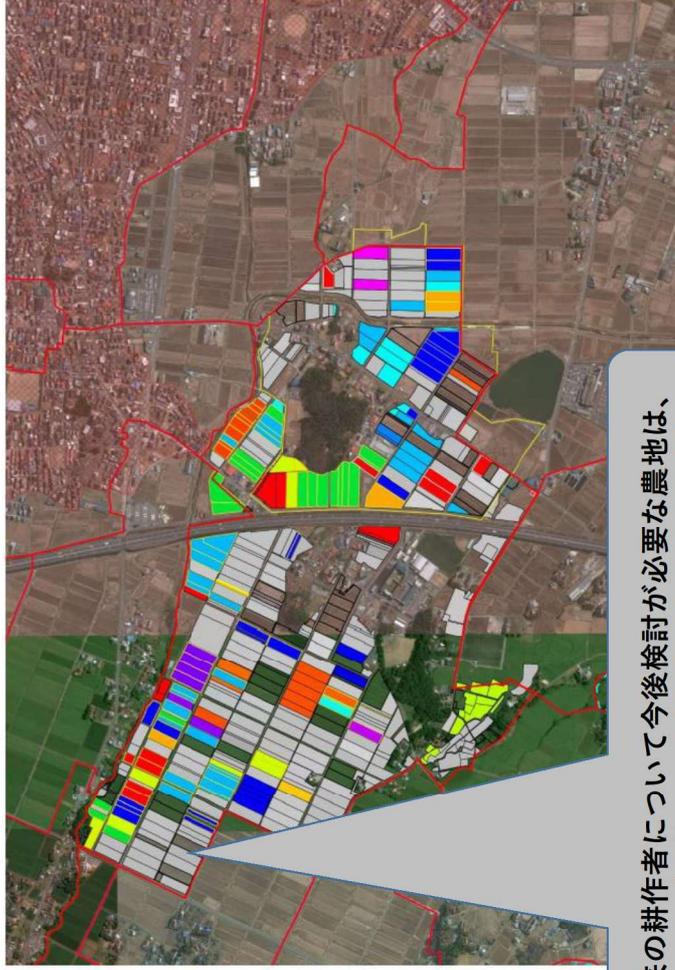
属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 A	稲作	4.7 ha	ha	稲作	23.2 ha	ha		
	認農 B								
2	認農 C	稲作	3.6 ha	ha	稲作	22.0 ha	ha		
3	認農 D	稲作	3.5 ha	ha	稲作	30.3 ha	ha		
4	認農 E	稲作	1.1 ha	ha	稲作	4.6 ha	ha		
5	認農 F	果樹	1.5 ha	ha	果樹	1.5 ha	ha		
6	認農 G	稲作	1.4 ha	ha	稲作	3.7 ha	ha		
7	認農 H	稲作	1.9 ha	ha	稲作	1.9 ha	ha		
8	認農 I	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
9	認農 J	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	2.5 ha	ha		
10	認農 K	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
11	認農 L	稲作	1.4 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
12	認農 M	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha		
13	認農 N	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha		
14	認農 O	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
15	認農 P	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha		
16	認農 Q	稲作+施設野菜+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜+露地野菜	0.5 ha	ha		
17	認農 R	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
18	認農 S	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.2 ha	ha		
19	認農 T	稲作	0.9 ha	ha	稲作	34.5 ha	ha		
20	認農 U	露地野菜	0.1 ha	ha	露地野菜	0.1 ha	ha		
21	認農 V	稲作	0.3 ha	ha	稲作	6.6 ha	ha		
22	認農 W	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
23	認農 X								
	認農 Y	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha		
	認農 Z								
24	認農 AA	稲作・いも類・豆類	3.9 ha	ha	稲作・いも類・豆類	4.0 ha	ha		
25	認新 AB	稲作+露地野菜	0.7 ha	ha	稲作+露地野菜	0.7 ha	ha		
26	認新 AC	イチゴ	0.3 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha		
27	利用者 AD	稲作	1.3 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha		
28	利用者 AE	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha		
29	利用者 AF	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha		
30	利用者 AG	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha		
31	利用者 AH	稲作	2.6 ha	ha	稲作	7.5 ha	ha		
32	利用者 AI	稲作	4.0 ha	ha	稲作	4.2 ha	ha		
33	利用者 AJ	稲作	2.8 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha		
34	利用者 AK	稲作+施設野菜	2.0 ha	ha	稲作+施設野菜	1.7 ha	ha		
35	利用者 AL	稲作+イチゴ	2.2 ha	ha	稲作+イチゴ	2.2 ha	ha		
36	利用者 AM	施設野菜	0.7 ha	ha	施設野菜	0.7 ha	ha		
37	利用者 AN	施設野菜	1.3 ha	ha	施設野菜	1.3 ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		

目標地図の見方

「目標地図」は、地域計画の中で「農業を担う者」として位置付けられた方が、将来（おおむね10年後）、具体的にどの農地を耕作するかを、地図で表示する見込みなのかを、地図で表示したものです。

地図は、人・農地プランまたは農業集落単位で作成しています。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0106	大槻町	【プラン】大槻町山下	2024/12/27



将来の耕作者について今後検討が必要な農地は、着色されず、枠のみの表示となっています。

地域計画上の「農業を担う者」になっていない農業者の方が耕作予定の農地は、グレー（灰色）で表示しています。

地域計画上の「農業を担う者」の氏名と、地図上の色を示しています。
枠の色は、地図上の農地の枠線の色を表しています。

※農業を営んでいても、地域計画上の「農業を担う者」になっていない方の氏名は、記載されておりません。

※枠囲みは、地図の作成作業の過程でランダムに決定しており、何らかの基準等によりグループ分けしたものではありません。

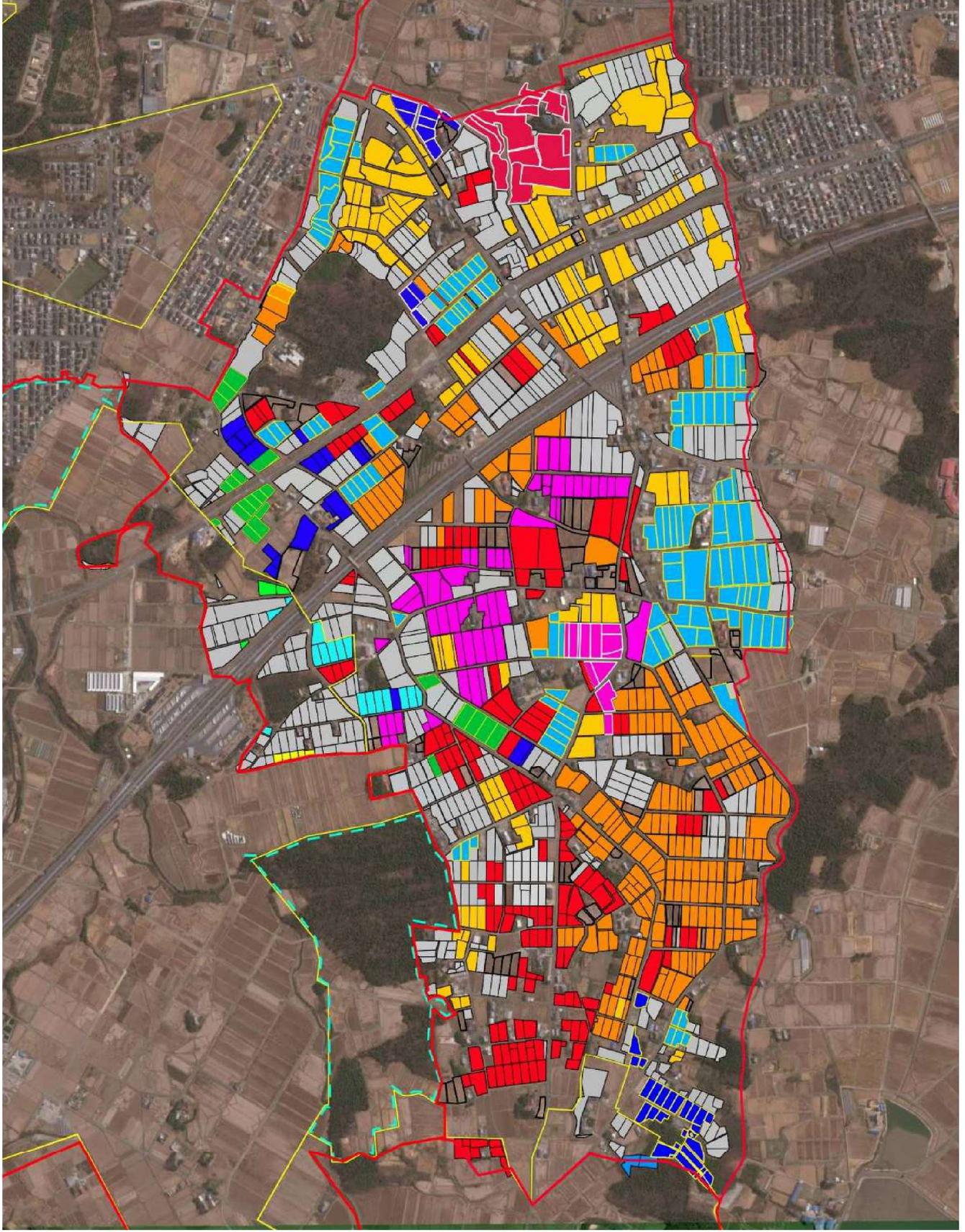


上記以外の耕作者の方

※耕作の無い農地は今後検討

二重線の枠は、地図上の農地の枠が白色の農地を表しています。

地図番号	地域計画名	最終更新日
0302	安積町 【集落】豊田村_001_牛庭	2025/2/5



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

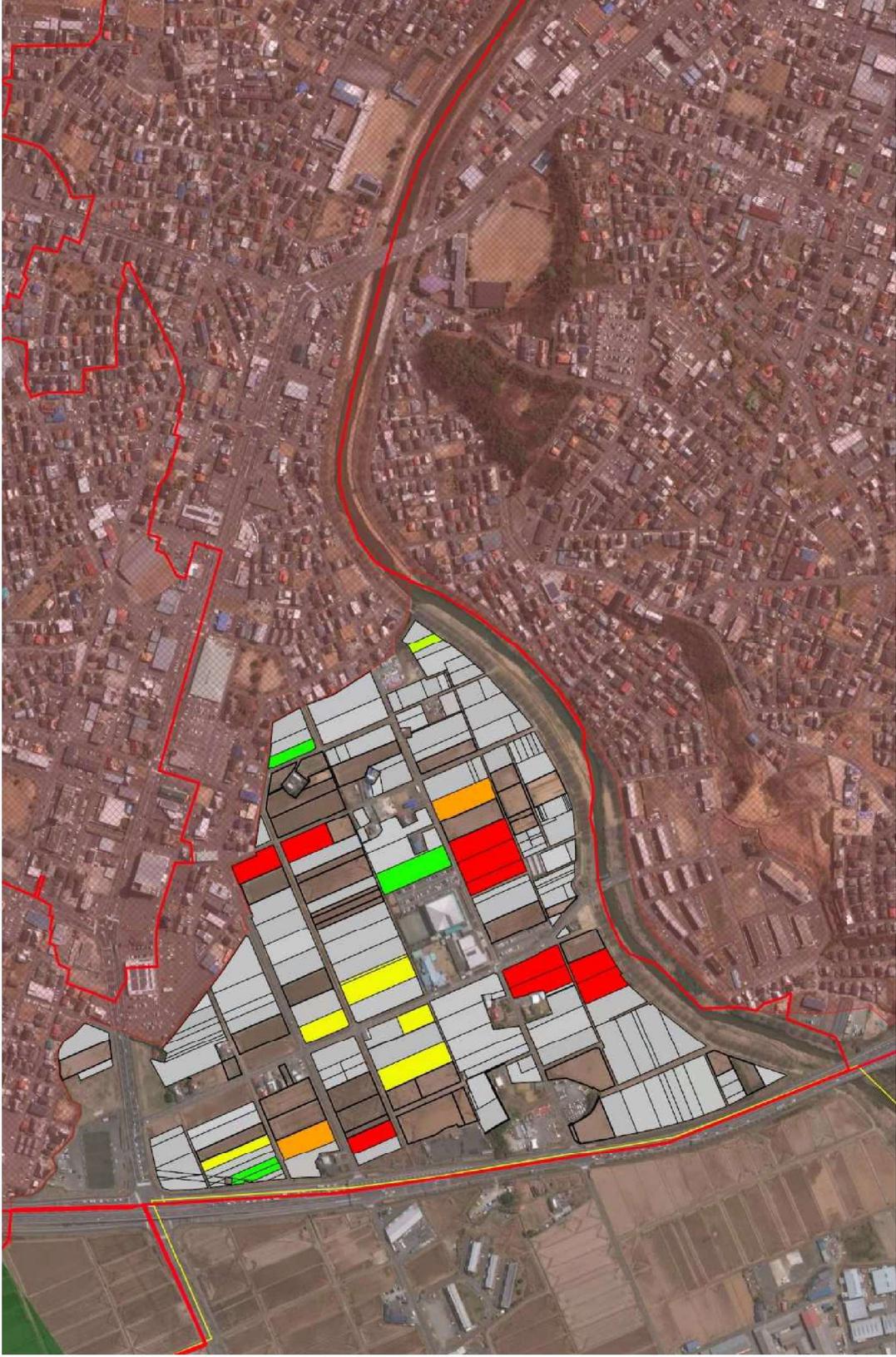
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0304	安積町	【集落】永盛町_003_荒井	2024/12/27

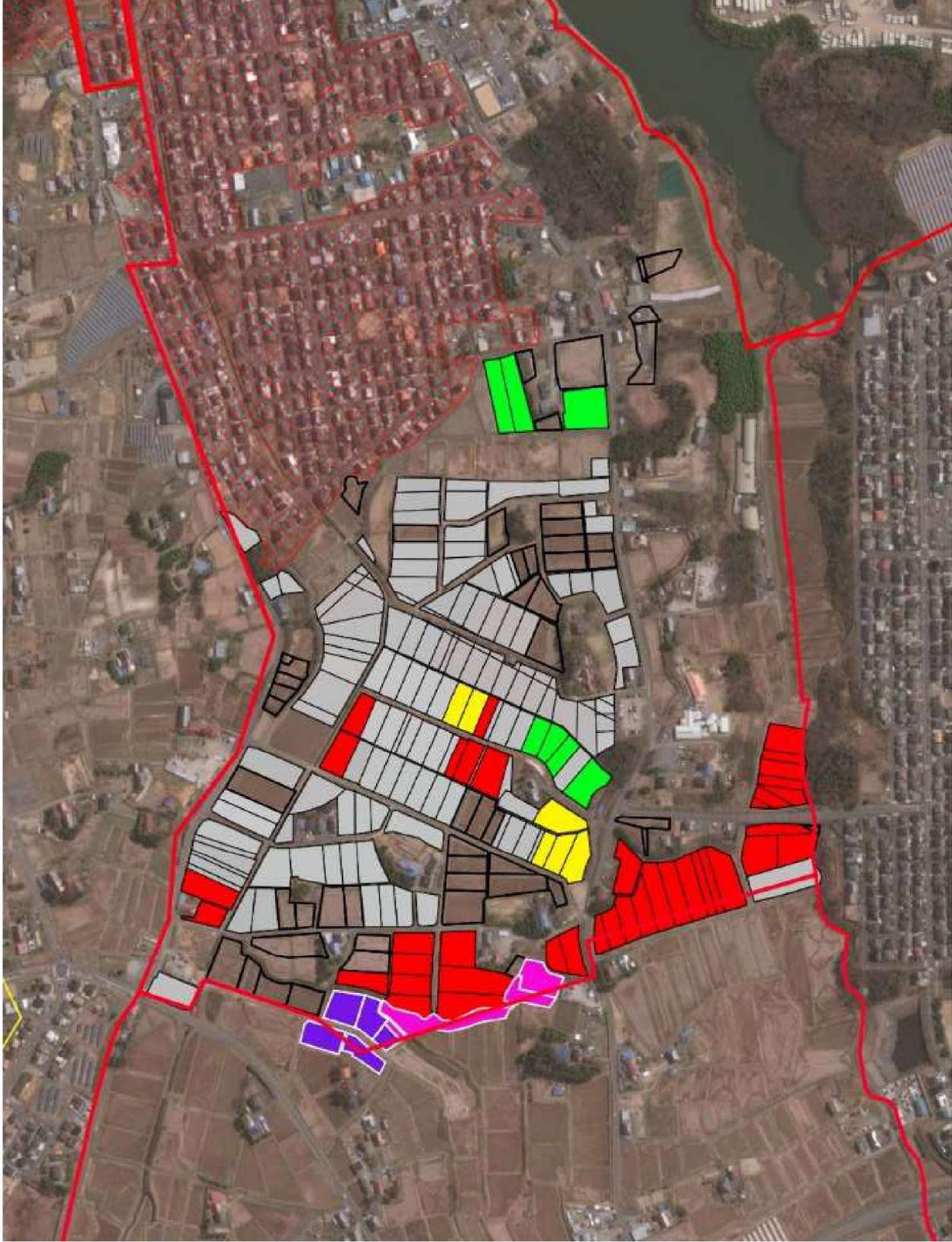


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0307	安積町	【集落】永盛町_008_南吉田	2024/12/27



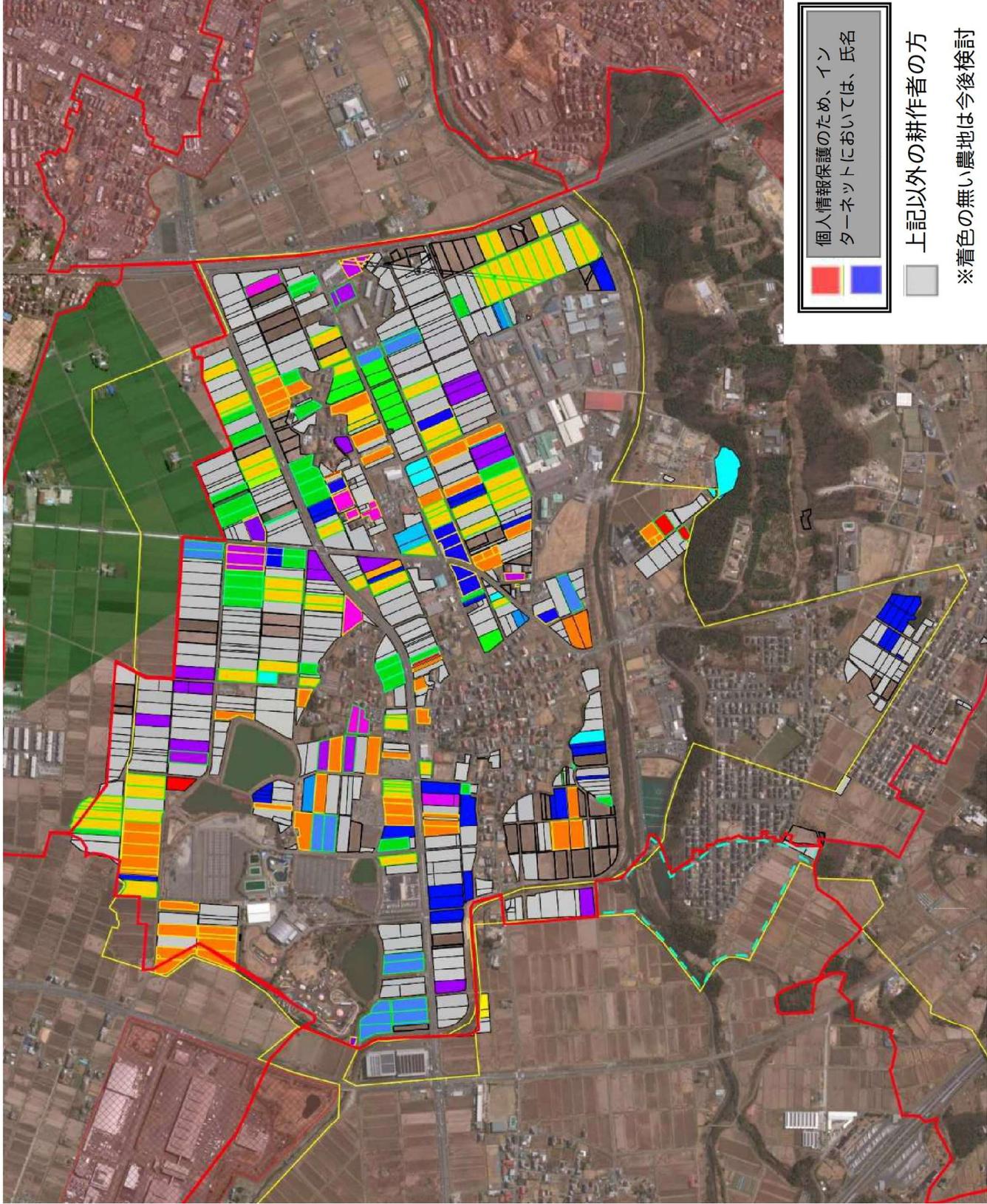
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

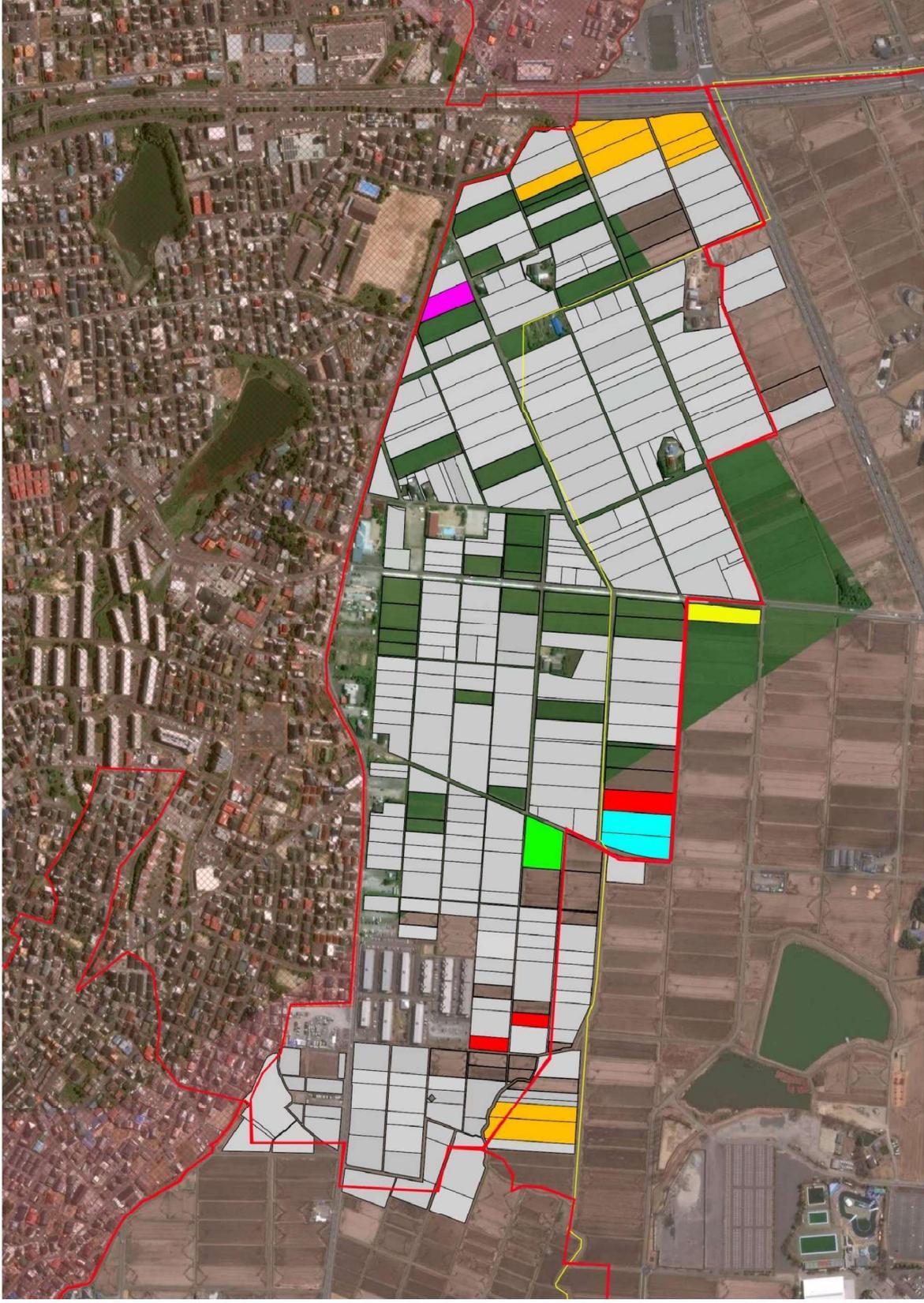
上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	最終更新日
0308	安積町	2025/2/5
目標地図名		
【プラン】安積町成田		



地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0309	安積町	【集落】永盛町_001_柴宮	2024/12/27



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。



上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討